



勉強・探求活動・部活動で多忙な高校生

高校に入学した時から大学受験を意識するのが当たり前の環境で、通常の勉強に加え探求科での探究活動、部活動と忙しい日々でした。数学が好きだったこと、当時は理系科目は学校でしか学べないだろうという考えから理系に決めました。富山で就職するのであれば製薬系が良いのではないかとというアドバイスを受け、生命工学系を目指していました。受験では、悔いなくやり切りたい思いで前期は第一志望校を受験しました。後期は入学までのスケジュールが過密であることを考慮し地元の富山大学を受験しました。結果として富山大学に進学することになりました。

アンテナを張ることを大切に

大学入学直後は、受験で第一志望の大学に入れなかった悔しい気持ちを忘れるためにアルバイトやサークル活動に注力しました。中国語の授業で中国大使館との交流合宿を紹介されました。交通費のみで中国大使館や領事館の人とお話できる機会が貴重だと思い、参加しました。他大学の学生との交流で、目標に向かって自ら行動する姿を見て刺激を受けました。興味のあることに猛進すれば広がる世界があるということを感じました。

授業がきっかけで行動に移す

ずっと高岡の商店街、山町筋や金屋の街の景観の美しさに惹かれていました。高校に入学して、県外に出るのが当たり前という価値観を持つ人が多い中、地元が好きと言いつらい空気に違和感を感じていました。高岡が好きなのが、堂々と高岡が好きだと言える環境を作りたいと考え、地域活性化のために取り組みたいと思っていました。行動に移せずにいるときに、工学部の社会中核人材育成学という授業で社会人とお話する機会がありました。富山にいながらも都会の学生に引けを取らないような活動がしたいと相談したら、「課題意識を持っている高岡の地域活性化の取り組みをやってみればいいのでは」と背中を押してもらいました。

同志が集まり「推しまち高岡」結成

まずは情報収集のため、SNSで「高岡」をキーワードに記事検索しました。私と同じように高岡の地域活性のために動きたいと思っている高校の同級生と繋がりました。彼女は大学進学をきっかけに東京に行き、東京から地元である高岡の地域活性化のためにできることを考えていました。もうひとつ大きな出会いがあり、SNSの文章を読んで惹かれていた富山大学OGが参加するイベントに参加しました。その先輩は高岡の商店街の街づくりに関心を持ち、行動していました。先輩を通じ、富山大学周辺で活動する「面白ベース」や「タカボケ」と繋がり、「富山大学でもやりたいことを行動に移して頑張っている人がいるんだ」と知ることが出来ました。広がったご縁を通じて、私と高校の同級生を共同代表として「推しまち高岡」の活動が2026年2月より本格始動しました。3月中旬からは高校の同級生3人が仲間に加わりました。5/17(日)に開催予定の「八丁道おもしろ市」の企画、推しまち高岡オリジナルステッカーの制作、体験活動プログラムに分かれてプロジェクトを現在進めています。高岡に愛着を持つ「高岡ファン」がやりたいことを形にしていけることで、高岡を盛り上げ、高岡ファンを増やしていきたいと考えています。



推しまち高岡キックオフイベントで集まった仲間たち

推しまち高岡の
情報はこちら



Instagram

母校の後輩たちへ

興味があることに関われるタイミングがあったときに飛び込むことが皆さんの高校生活を豊かにするきっかけになると思います。勉強や部活で忙しいと思いますが、直感を大切に高校生活を楽しんでください！